

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																				
東北歯科技工専門学校	昭和40年4月1日	渡邊奈美	〒982-0841 宮城県仙台市太白区向山四丁目27-8 (電話) 022-266-0237																				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																				
五十嵐一行	昭和40年4月1日	渡邊奈美	〒982-0841 宮城県仙台市太白区向山四丁目27-8 (電話) 022-266-0237																				
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																			
医療	職業実践専門課程	歯科技工学科	平成6年文部大臣 告示第84号																				
学科の目的	近年高齢社会の急激な進展に伴い、高齢者の口腔内における質的な衛生状態の保存や、若年者の食の変化により、歯科治療の内容も設立当時の状況とは大きく変化しているのが現状である。また歯科における知識や技術も著しい進歩を遂げており、歯科治療に欠かせない補綴物や矯正装置を製作する歯科技工士に対する教育もそれに併せて必要不可欠なものとなっている。それに伴いプロフェッショナルな歯科技工士としての、知識、技術ともに歯科治療のニーズに応えられることはもとより、人間性や倫理観を兼ね備えた人材を作り上げて行くべく、本学科は厚生労働省認可の国家資格を有する歯科技工士養成学科として設置する																						
認定年月日	平成27年2月17日 文部科学大臣告示23号																						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																
2年	昼間	2264単位時	400単位時間	0単位時間	1846単位時間	0単位時間	0単位時間																
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																		
80人	55人	0	9人	1人	10人																		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～翌3月31日		成績評価	■成績表：有 ■成績評価の基準・方法 学説試験、実習点の成績及び出席日数ならびに性行を総合																			
長期休み	■学年始め：4月19日 ■夏季：7月26日～8月22日 ■冬季：12月20日～翌1月7日 ■学年末：3月19日		卒業・進級条件	授業科目各60点以上合格																			
学修支援等	■クラス担任制：有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応 クラス担任の指導の後改善が認められない場合は副校長が対処の後父兄面談にて協議を行う		課外活動	■課外活動の種類 ■サークル活動：有																			
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) 歯科医院、歯科技工所、メーカー、歯科材料店等 ■就職指導内容 個別面談を経て、勤務地、勤務先等を聞き取り調査し、本人の希望に合った勤務先を提示する ■卒業生数 21人 ■就職希望者数 11人 ■就職者数 11人 ■就職率 : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 : 52% ■その他 卒業生の内、7名研修科進学 就職希望しない者3名 (令和2年度卒者に関する令和3年3月時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業生に関する令和3年度5月1日時点の情報) <table border="1"> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> <tr> <td>歯科技工士国家試験 受験資格取得</td> <td></td> <td>21</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	歯科技工士国家試験 受験資格取得		21	20								
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																				
歯科技工士国家試験 受験資格取得		21	20																				
中途退学の現状	■中途退学者 2名 令和2年4月16日在学者 47名(令和2年4月入学者を含む) 令和3年3月8日在学者 42名(令和3年3月卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 家庭の事情 学業不振 ■中退防止・中退者支援のための取組 数回に亘る担任や教務部長によるカウンセリングや父兄面談等を行いながら中退の防止に努める		■中退率	4.2%																			
経済的支援制度	入学者に対して企業奨学金制度がある。 学費納入については、分納や期日延期などの相談を受け付けている。																						
第三者による学校評価	現在受けていない。																						
当該学科のホームページURL	URL: <a href="http://www.toushigi.ac.jp/">http://www.toushigi.ac.jp/</a>																						

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。